

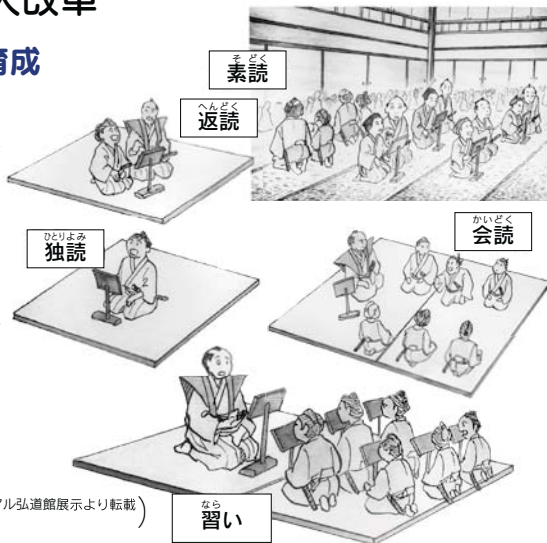
17歳(数え年)で佐賀藩の10代藩主になった鍋島直正は、さまざまな改革を行いました。

□幕末佐賀藩の大改革

次代を担う人材を育成

藩校「弘道館」を拡張。大隈重信や江藤新平など多くの人たちがここで学びました。

■その他、佐賀藩内の教育機関
 東原摩舎(多久領)、身教館(武雄領)、興讓館(小城藩)、成章館(蓮池藩)、弘文館(鹿島藩)、思斉館(久保田領)、三近堂(須古領)、知方館(川久保領) など



(肥前さが幕末維新博覧会リアル弘道館展示より転載) イラスト：青島太郎氏



斉正(直正)公 蘭船ゲデー号訪問図 (公益財団法人 鍋島報効会 蔵)

1855(安政2)年、鍋島直正は、長崎に来港したオランダの蒸気船ヘデー(ゲデー)号に乗り込み、船内を見学しました。

直正公嗣子淳一郎君種痘之図

佐賀藩は西洋医学を積極的に導入。1849(嘉永2)年、当時4歳(数え年)だった直正の子淳一郎に天然痘のワクチンを接種(種痘)しました。これが、種痘が全国に普及するきっかけになりました。



(佐賀県医療センター 好生館 蔵)

他藩に先駆けて熱心に取り入れた西洋文明

最新最強の軍事力で長崎警備を強化



きがはんついでいじんしやろえぞ 佐賀藩築地反射炉絵図(部分)

オランダの原書を読み解いて、一度に大量の鉄を溶かすことのできる反射炉を築き、日本で初めて西洋式の鉄製大砲をつくりました。

(公益財団法人 鍋島報効会 蔵)



(佐賀県観光連盟 提供)



(公益財団法人 鍋島報効会 蔵)

築地反射炉跡

現在の日新小学校(佐賀市長瀬町)付近に築地反射炉が築かれたと考えられ、校庭内に反射炉や大砲の模型が設置されています。

三重津海軍所之図(部分)

三重津海軍所では、洋式船などを操船する海軍の訓練が行われ、ここで、日本初の実用蒸気船「凌風丸」が造られました。三重津海軍所跡は、世界遺産に登録されています。

読んでみよう!

マンガで読む『鍋島直正』学校の図書館にもあるよ!

(佐賀県文化・スポーツ交流局 文化課 提供)

見どころスポット

佐賀県立 佐賀城本丸歴史館

住所：佐賀市内 2-18-1
 電話：0952-41-7550
 開館時間：9時30分～17時
 休館：年末(12月29日～31日)
 料金：無料